

おわりに

続けていると、いろんなことに気づかされます。人との関わりあいのなかで、どのあたりに妥協点を見出すか悩むこともあり、また、反省させられることも多いです。自己中心的な私の性格では、一生勉強し続ける必要を痛感させられるのです。しかし、これまでの経験から、続けることのうちに、まだまだ変化や成長が期待できると思います。また、これでいいと満足できない完全欲の強さは、業のようなものかとも思うほどです。だから、これからも続けたい。あるいは続けざるを得ないというのが、実感かもしれません。

(次回「実生活と森田」編)